

有田区地域協議会 第4期活動報告

事務局：上越市 総合政策部 地域政策課
北部まちづくりセンター

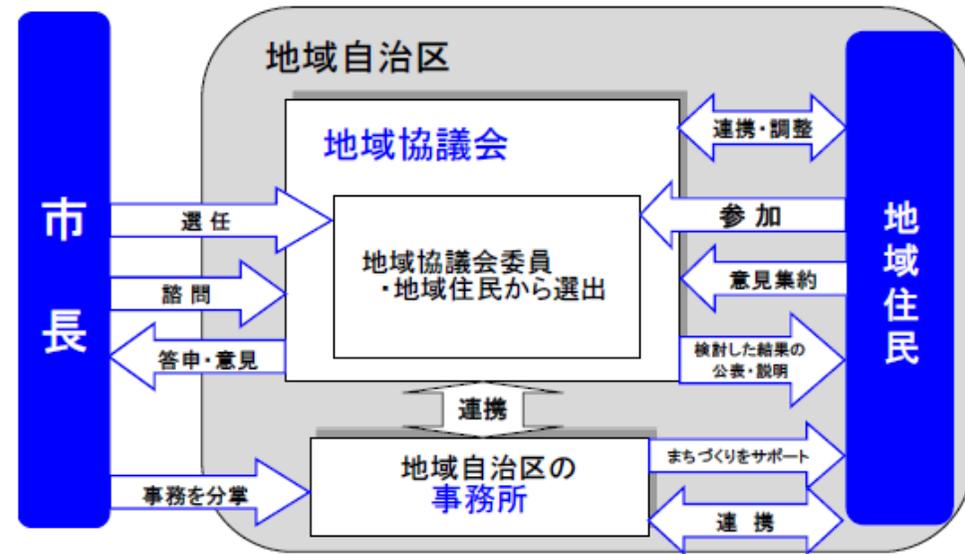
地域協議会について

○上越市の地域自治の仕組み（地域自治区制度）

地域自治区制度は、市内各地域の住民と行政の連携を強化し、地域特性や住民の意志を市政に反映していくための仕組みです。

地域自治区には地域協議会が設けられ、地域の課題解決や活性化策を話し合う場となり、地域団体との連携・調整を行うほか、話し合った結果を市長へ伝えます。事務所は地域協議会の事務や地域のまちづくりを支援します。

<地域自治区のイメージ>



○地域協議会の役割

■地域の課題解決

- ・地域住民との意見交換などを通じて把握した地域の課題について、自らテーマを決めて、より良い解決策を話し合い、地域で活動する団体等へ連携・協力を働き掛け、地域の中で解決に向けた活動を行います。

■市からの諮問に対する答申

- ・市長から意見を求められた案件について話し合い、市長に意見を返します。

(例) 新市建設計画の変更、公の施設の設置・廃止等、市が策定する基本構想等



第4期有田区地域協議会（任期：令和2年4月29日～令和6年4月28日）

I 委員一覧（17名）

会長

・熊木 敏夫

（安江1）

副会長

・樺沢 早苗

（安江）

副会長

・市川 禅

（春日新田1）

・五十嵐 里枝

（春日新田1）

・池田 憲雄

（三ツ橋）

・牛木 幸一

（佐内町）

・内山 幸一

（小猿屋新田）

・荻原 慶一

（上源入）

・栗間 良子

（春日新田5）

・高橋 邦夫

（三ツ橋新田）

・高橋 秀樹

（佐内町）

・長谷川 陽一

（春日新田2）

・平井 弘一郎

（塩屋新田）

・藤井 英夫

（下源入）

・山崎 栄一

（上源入）

・渡辺 恵子

（春日新田2）

・渡邊 瑞穂

（塩屋新田）

2 地域協議会の開催状況・・・延べ24回開催

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
回数	6回	6回	8回	4回 (令和6年2月時点)
会場	カルチャーセンター			

3 諮問・答申の状況・・・件数:3件

<令和3年度>

諮問内容	上越市教育プラザ多目的ホールの廃止について
諮問理由	若者の居場所 (Fit) を上越市教育プラザ多目的ホールに常設するため、同室を公の施設として廃止することに関し、有田区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの
答 申	「地域住民の生活に支障がない」として答申 (附帯意見なし)

<p>諮問内容</p>	<p>小猿屋保育園の廃止について</p>
<p>諮問理由</p>	<p>平成31年4月から休園している小猿屋保育園について、地域保育園に対する需要が見込めないため、公の施設としては令和4年4月1日に廃止することに関し、有田区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、地域協議会の意見を求めるもの</p>
<p>答 申</p>	<p>「地域住民の生活に支障がない」として答申（附帯意見なし）</p>

<令和4年度>

<p>諮問内容</p>	<p>新市建設計画の変更について</p>
<p>諮問理由</p>	<p>新市建設計画に登載した事業で、令和5年度以降に合併特例債の活用が見込まれるものがあることを受け、新市建設計画の変更を行うに当たり、「新市建設計画の変更案」を別紙（資料省略）のとおりとすることについて、有田区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの</p>
<p>答 申</p>	<p>「地域住民の生活に支障がない」として答申（附帯意見なし）</p>

4 地域活性化の方向性（令和5年3月6日作成）

<キャッチコピー>

有田区の自然、利便性、さかんな産業などの恵まれた環境をいかして、あらゆる世代が住みやすい地域としてあり続けます。

<構成要素>

- ①住んでいて心地よい地域であるための環境維持と防災対策
- ②学校コミュニティを中心としたイベントや活動の推進
- ③カルチャーセンターなど地域拠点の利活用
- ④あらゆる世代・国籍の人々の支え合いと交流促進
- ⑤地域で大事にしている行事・歴史・文化の継承と魅力発信

5 意見交換会

開催日	内容
令和3年3月22日	地域活動支援事業募集説明会 <ul style="list-style-type: none">・地域協議会の活動報告・地域活動支援事業の説明・活動事例紹介、実施団体による成果発表・地域課題や地域活動支援事業に係る意見交換
令和4年3月14日	地域活動支援事業募集説明会 <ul style="list-style-type: none">・地域協議会の活動報告・地域活動支援事業の説明・活動事例紹介、実施団体による成果発表・地域課題や地域活動支援事業に係る意見交換



有田区地域協議会活動報告

6 地域協議会だよりの発行

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
発行回数	3回 (第35~37号)	3回 (第38~40号)	3回 (第41~43号)	2回 (R.6.2月時点) (第44~45号)

有田区地域協議会だよりの発行

令和2年6月25日発行(第35号) 発行:有田区地域協議会 編集:北部まちづくりセンター

4期目の地域協議会がスタート

4月に地域協議会の委員改選が行われ、4期目の地域協議会委員は2名増が新たに選任されました。5月25日(月)にカルチャーセンターで新委員協議会を開催し、会長・副会長の選任や、今後の地域協議会の運営方針などについて話し合いました。

協議の結果、会長には熊木敏夫さんが、副会長に藤沢早苗さんと市川麗さんを選ばれました。今後は、市民からの御声かけや、地域の課題を解決するための協議、地域活動支援事業の審査・採択などを行っていきます。



協議会の様子

【ご挨拶】
有田区地域協議会 会長 熊木 敏夫(安江一)
有田区の人口は15,000人と1965年の2倍強と増加して年代層も若く、住みやすさが課題の地域ですので、その課題解決に努力していきたいと思っております。協議会がまだ地域のみなさんに浸透していないと考えています。構成したい、一歩ずつ進んでいきたいと思っております。
副会長 藤沢 早苗(安江)
地域協議会がまだ地域のみなさんに浸透していないと考えています。構成したい、一歩ずつ進んでいきたいと思っております。
副会長 市川 麗(春日新田一)
現役の子育て世代として、子ども連れに降れるような有田区となるようしながら活動してまいりたいと思っております。宜しくお願いたします。

北部まちづくりセンター 上越市中央1-16-1 上越市レインボーセンター
TEL: 531-1337 FAX: 531-1338 メール:hokubu-machi@city.joetsu.tg.jp

有田区地域協議会だよりの発行

令和3年6月25日発行(第38号) 発行:有田区地域協議会 編集:北部まちづくりセンター

令和3年度地域活動支援事業採択事業を決定しました!

有田区の地域活性化のため、事業提案を募集したところ、11件の提案があり協議の結果、10件の提案事業(総額890万円)について採択することに決定しました。

採択された10提案(提案受付付録)

No.	事業名(提案団体名)	事業内容
1	有田地区いきいき支援事業 【有田福祉の会】	カルチャーセンターを拠点に高齢者の予防につながる通いの場として実施する「すこやかサロン」及び子育てサロン「ちよちの会」の内容を充実させることで地域全体で支え合う基盤を作り、地域活性化を図る。
2	有田わくわく体験事業 【有田こどもフェスタ実行委員会】	地域全体で子どもたちを育てていくきっかけづくりとするため、区内小中学生が、楽しみ、交流が図れる「有田わくわく体験」を開催する。
3	富江津東中学校区学校教育・家庭教育支援事業 【富江津東中学校区家庭教育協議会】	富江津東中学校区の学校教育及び家庭教育の一層の充実を図るため、「教育要覧」「教育ハンドブック」を発行し、各家庭等に配布する。
4	富江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業 【富江津東中学校区家庭教育協議会】	小・中学生の自立や、夢実現への準備を地域全体で支援するために、地域企業や中学校の卒業生、地域住民の協力により、仲間づくり活動や講演会の開催、イベントを実施する。
5	有田地区小学校音楽演奏活動支援事業 【有田地区小学校後援会】	有田市の各種行事を盛り上げることを目的に、有田小学校と春日新田小学校で専任による音楽技術講習会を行い、演奏発表会を実施する。
6	有田地区小学校校名の遊び体験活動支援事業 【有田地区小学校後援会】	有田区内2小学校児童が地域住民ボランティアとの交流を図りながら、様々な名の遊びを体験し、健全育成と地域への愛着心形成を図る。

裏面をご覧ください

有田区地域協議会だよりの発行

令和4年7月25日発行(第41号) 発行:有田区地域協議会 編集:北部まちづくりセンター

令和4年度地域活動支援事業の採択事業を決定しました!

有田区の地域活性化のため、事業提案を募集したところ、8件の提案がありました。審査の結果、全ての提案事業について採択することに決定しました。

採択された8提案(提案受付付録)

No.	事業名(提案団体名)	事業内容	採択額
1	有田地区いきいき支援事業 【有田福祉の会】	カルチャーセンターを拠点に高齢者の介護予防につながる通いの場として実施している「すこやかサロン」及び「子育てサロン」を充実させることで、地域全体で支え合う基盤を作り、地域活性化を図る。	7
2	有田わくわく体験事業 【有田こどもフェスタ実行委員会】	地域全体で子どもたちを育てていくきっかけづくりとするため、区内小中学生が、楽しみ、交流が図れる「有田わくわく体験」を開催する。	2
3	富江津東中学校区学校教育及び家庭教育の一層の充実を図るため、「教育要覧」「教育ハンドブック」を発行し、各家庭等に配布する。	4	
4	「鹽池」伝説の紙芝居作成・上演事業 【下門前町内会】	地域に伝わる伝説を紙芝居として作成し、「しももんげんこども会」で定期上演する。子どもたちが地域に心を抱くことで、誇りと愛着を育む。また、地域で経験を共有することで一体感を高めることにも、地域全体で子どもを育てる機運を醸成する。	2
5	有田地区各種団体屋外活動支援事業 【有田地区町内会協議会】	有田地区の各種団体が屋外活動を効果的・効率的に実施できるよう放送機器を整備し、各種行事・イベントや防災訓練などで活用し、活動の充実を図る。	7

裏面をご覧ください

有田区地域協議会だよりの発行

令和5年6月25日発行(第44号) 発行:有田区地域協議会 編集:北部まちづくりセンター

『地域活性化の方向性』を作成しました

地域協議会では、地域の活力向上に向けた議論を進めるうえで委員間の認識の共有などを目的に、「地域活性化の方向性」を検討してきました。地域の皆様からは、地域協議会だよりに(令和4年9月25日号)を通じ、意見募集にもご協力いただき、大変ありがとうございました。

地域協議会では、「地域の魅力、特性、次世代に残していきたいもの」やそれらをどうしていきたいかについて委員間で話し合い、地域の皆さんからいただいたご意見も踏まえて検討した結果、下記のとおり活性化の方向性とそれを支える5つの柱となる構成要素を作成しました。

今後、作成した方向性を基に、有田区の活性化につながる取組の検討などを進めていきます。



＜有田区の地域活性化の方向性(やりたい姿)＞

有田区の自然、利便性、さかんな産業などの恵まれた環境をいかして、あらゆる世代が住みやすい地域としてあり続けます。

＜構成要素(活性化の方向性を支える5つの柱)＞

- ・住んでいて心地よい地域であるための環境維持と防災対策
- ・学校コミュニティを中心としたイベントや活動の推進
- ・カルチャーセンターなど地域拠点の活用
- ・あらゆる世代・国籍の人々の支え合いと交流促進
- ・地域で大事にしている行事・歴史・文化の継承と魅力発信

お問い合わせ
北部まちづくりセンター 上越市中央1-16-1 上越市レインボーセンター内
TEL: 531-1337 FAX: 531-1338 メール:hokubu-machi@city.joetsu.tg.jp

裏面をご覧ください

7 地域活動支援事業（令和2年度～令和4年度）

有田区 地域活動支援事業採択方針

- ・有田区住民の活性化につながる事業及び住民の生活環境の向上に資する事業で、事業実施による効果が期待できる事業を優先的に採択する。
- ・なお、優先的に採択する以外の事業については、制度の趣旨や全体のバランス、地域の要望等を考慮し採択する。

優先的に採択する事業の分野

○地域振興に資する事業

（例）住民交流（世代間交流）事業、各種団体との連携、住民啓発事業、住民交流の場（施設、公園など）の充実 等

○生活環境の向上に資する事業

（例）環境美化活動、道路沿線のクリーン活動、花いっぱい運動、住環境の充実につながる事業 等

○安全安心、地域防災の向上に資する事業

（例）安全安心マップ作製・配布、通学路危険箇所の調査・マップ作製、防犯活動（ベスト、帽子、旗等の整備）支援、水害避難訓練 等

○教育文化・健康に資する事業

（例）教育環境の充実、伝統文化の継承（復活）、スポーツ・レクリエーション事業、健康増進事業 等

○その他

上記に属さないが、有田区の活性化につながる事業

有田区地域協議会活動報告

地域活動支援事業において採択した事業

<令和2年度> (配分額:8,800千円)

No.	事業名(団体名)	補助採択額	事業内容
1	有田地区いきいき支援事業 (有田福祉の会)	977千円	カルチャーセンターを拠点に実施している「すこやかサロン」の内容を充実することで、高齢者支援と地域で支え合う基盤を作り地域活性化を図る。
2	有田わくわくフェスタ事業 (有田子どもフェスタ実行委員会)	280千円	世代間の交流を図り、地域全体で子どもたちを育てていくため、「有田わくわくフェスタ」を開催する。
3	直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業 (直江津東地域学園運営協議会)	412千円	直江津東中学校区の学校教育及び家庭教育の一層の充実を図るため、「教育要覧」「教育ハンドブック」を発行し、各家庭等に配布する。
4	有田地区小学校音楽演奏活動支援事業 (有田地区小学校後援会)	120千円	有田区の各種行事を盛り上げることを目的に、有田小学校と春日新田小学校で専門家による演奏技術講習会を行い、演奏発表の充実につなげる。
5	有田地区教育・文化活動推進事業 (有田地区町内会長協議会)	2,568千円	地域住民が、講演会等の教育文化活動に親しむため、有田小学校・春日新田小学校、直江津東中学校に椅子やテーブルを整備し活用する。
6	直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業 (直江津東地域学園運営協議会)	2,610千円	小・中学生の自立や、若手リーダーの育成等を地域全体で支援するために、地域住民の協力を得て、仲間づくり活動や講演会等を実施する。
7	R350花壇整備事業 (350同友会)	203千円	国道350号線沿いの花壇にハーブを植栽し、周辺地域の環境美化活動と地域住民の健康を促進する。
8	有田地区いきいき支援事業(追加事業) (有田福祉の会)	1,630千円	カルチャーセンターの図書室・サークルサロンを、親子や幅広い年代の住民が利用できるように整備し、地域で支え合う基盤を作り、地域活性化を図る。

有田区地域協議会活動報告

<令和3年度> (配分額:8,900千円)

No.	事業名(団体名)	補助採択額	事業内容
1	有田地区いきいき支援事業 (有田福祉の会)	834千円	カルチャーセンターを拠点に高齢者の介護予防につながる通いの場として実施している「すこやかサロン」及び子育てサロン「よちよちの会」の内容を充実させることで、地域全体で支え合う基盤を作り、地域活性化を図る。
2	有田わくわく体験事業 (有田子どもフェスタ実行委員会)	210千円	地域全体で子どもたちを育てていくきっかけづくりとするため、区内小中学生が一緒に楽しみ、交流が図れる「有田わくわく体験」を開催する。
3	直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業 (直江津東地域学園運営協議会)	412千円	直江津東中学校区の学校教育及び家庭教育の一層の充実を図るため、「教育要覧」「教育ハンドブック」を発行し、各家庭等に配布する。
4	直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業 (直江津東地域学園運営協議会)	3,025千円	小・中学生の自立や、若手リーダーの育成等を地域全体で支援するために、地域の企業や中学校の卒業生、地域住民の協力を得て、仲間づくり活動や講演会の開催、立志式等を実施する。
5	有田地区小学校音楽演奏活動支援事業 (有田地区小学校後援会)	120千円	有田区の各種行事を盛り上げることを目的に、有田小学校と春日新田小学校で専門家による演奏技術講習会を行い、演奏発表の充実につなげる。
6	有田地区小学校冬の遊び体験活動支援事業 (有田地区小学校後援会)	396千円	有田区内2小学校児童が地域住民ボランティアとの交流を図りながら、様々な冬の遊びを体験し、健全育成と故郷への愛着心形成を図る。
7	有田地区体育・レクリエーション協会事業 (有田地区体育・レクリエーション協会)	500千円	有田地区住民の体力づくりと親睦を図るため、各種地域団体と連携を図りながら体育大会を実施する。
8	直江津東中学校野球部練習環境整備事業 (直江津東中学校野球部保護者会)	606千円	安心安全な部活動となるよう生徒と保護者が共同でグラウンド整備を行うとともに、効果的な技術力の向上が期待できるピッチングマシンを整備し、地域内の幼年野球チームも活用することで地域のスポーツ振興を図る。
9	R350花壇整備事業 (350同友会)	469千円	国道350号線沿いの花壇を土壌改良し、芝桜を植え付ける。地域住民から楽しんで歩いていただくことで、周辺地域の環境美化活動と地域住民の健康を促進する。
10	有田地区水泳技術指導活動推進事業 (有田地区町内会長協議会)	2,328千円	市内で数少ない50mプールを有している直江津東中学校を会場に、水泳技術講習会を開催し、区内児童・生徒の泳力向上を図る。これに合わせて、老朽化が著しいコースロープを更新し、練習環境を整える。

有田区地域協議会活動報告

<令和4年度>（配分額：8,900千円）

No.	事業名（団体名）	補助採択額	事業内容
1	有田地区いきいき支援事業 （有田福祉の会）	768千円	カルチャーセンターを拠点に高齢者の介護予防につながる通いの場として実施している「すこやかサロン」及び「子育てサロン」を充実させることで、地域全体で支え合う基盤を作り、地域活性化を図る。
2	有田わくわく体験事業 （有田子どもフェスタ実行委員会）	220千円	地域全体で子どもたちを育てていきっかけづくりとするため、区内小中学生が一緒に楽しみ、交流が図れる「有田わくわく体験」を開催する。
3	直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業 （直江津東地域学園運営協議会）	439千円	直江津東中学校区の学校教育及び家庭教育の一層の充実を図るため、「教育要覧」「教育ハンドブック」を発行し、各家庭等に配布する。
4	「蟹池」伝説の紙芝居作成・上演事業 （下門前町内会）	298千円	地域に伝わる伝説を紙芝居として作成し、「しももんぜんこどもの家」で定期上演する。子どもたちが地域に関心を抱くことで、誇りと愛着を育む。また、地域で話題を共有することで一体感を高めるとともに、地域全体で子どもを育てる機運を醸成する。
5	有田地区各種団体屋外活動支援事業 （有田地区町内会長協議会）	715千円	有田地区の各種団体が屋外活動を効果的・効率的に実施できるよう放送機器を整備し、各種行事・イベントや防災訓練などで活用し、活動の充実を図る。
6	直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業 （直江津東地域学園運営協議会）	3,554千円	小・中学生の自立や、若手リーダーの育成等を地域全体で支援するために、地域の企業や中学校の卒業生、地域住民の協力を得て、仲間づくり活動や講演会の開催、立志式等を実施する。
7	有田地区小学生の地域、農業、自然・環境体験活動支援事業 （有田地区小学校後援会）	1,732千円	有田区内2小学校児童が地域住民ボランティアとの交流を図りながら、地域、農業、自然・環境活動を体験し、健全育成と故郷への愛着心形成を図る。
8	R350花壇整備パートII事業 （350同友会）	442千円	国道350号線沿いの花壇を土壌改良し、芝桜を植え付ける。地域住民から楽しんで歩いていただくことで、周辺地域の環境美化活動と地域住民の健康を促進する。

<お知らせ>

地域活動支援事業は、令和4年度で終了しました。令和5年度からは、「地域独自の予算」を設け、地域の課題を解決し、地域の活力の向上を図る取組を支援しています。地域の課題解決、地域活性化のため、具体化したい取組がある団体・関心がある方は、北部まちづくりセンターへお気軽にご相談ください。